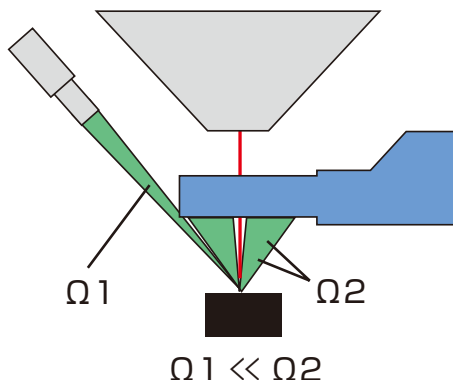


SEM-EDSによる軽元素(C,N,O,F)の分布評価 — 分解能が従来の10倍以上に向上 —

最新型高感度 EDS 検出器を導入し、低加速電圧（1kV～）で SEM-EDS の軽元素マッピングが可能となった。空間分解能が劇的に向上し、高分子などの低密度材料においても 50nm 以下の空間分解能で元素分布が評価ができるようになった。

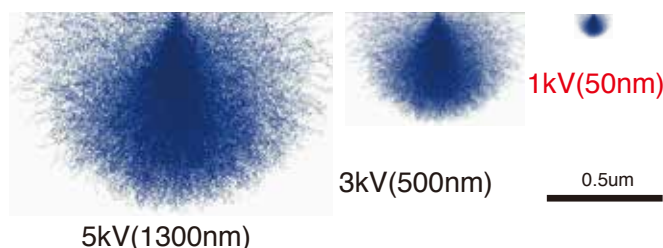
▶ 通常EDSとの違い

ポールピースとサンプルとの間に検出素子があるため、従来より広角度で特性 X 線を取り込むことが可能



▶ 分析領域広がり加速電圧依存性

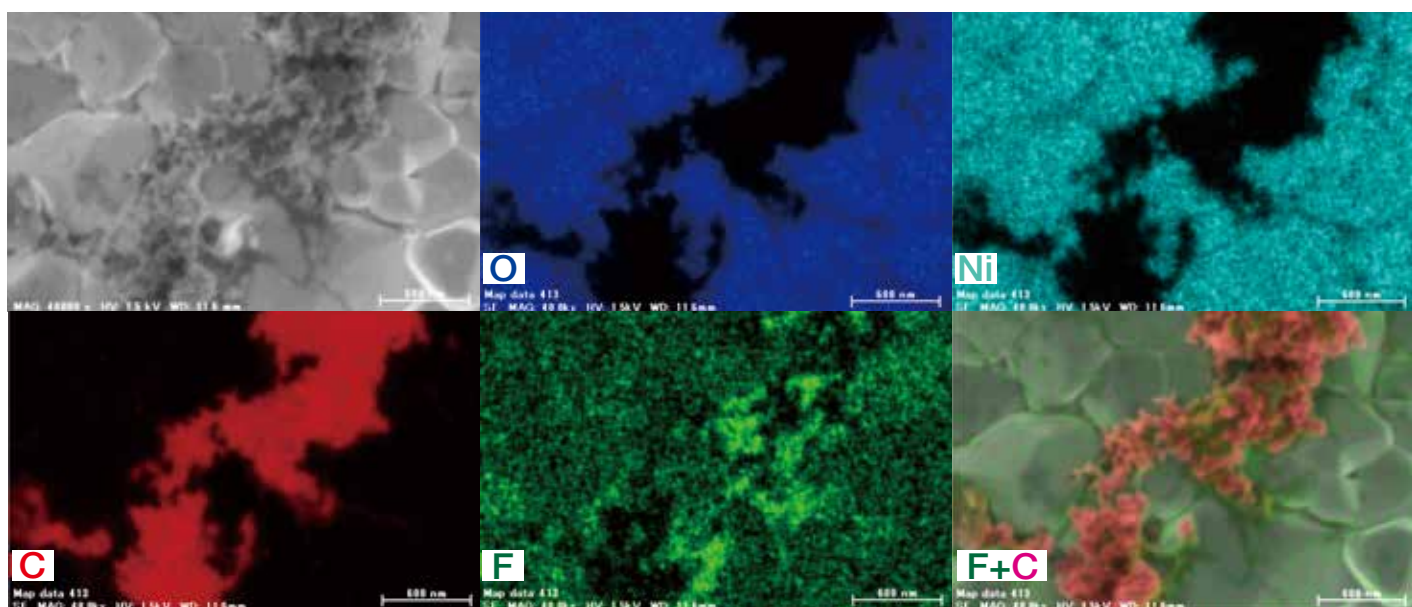
(高分子など低密度材料の場合)



低加速電圧測定で空間分解能と検出深さが劇的に向上

▶ 分析例 Liイオン電池 電極表面

数十nmスケールでC,O,F分布がわかる



加速電圧：1.5kV 測定時間：180 秒